

令和4年度 事務事業評価シート（1）

[令和3年度事務事業]

一般会計		事務事業分類		A 一般事務事業	
事務事業名		地方分権及び広域連携推進事務		事業番号	
担当部署名		市長公室 局		政策企画 部	
		広域連携担当		課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性	—		—
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		—
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—
			無	取組	—		—
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		—
		無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画			
3	事業開始年度	平成 18 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)			

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	指定都市市長会、関西広域連合、全国市長会、近畿市長会、大阪府市長会等の各団体及び構成団体の地方自治体		
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	国、地方自治体	対象数	単位
			—	—
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	分権型社会の実現による住民サービスの充実及び自治体連携による広域的行政課題の解決。		
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	指定都市市長会、関西広域連合、全国市長会、近畿市長会、大阪府市長会等に参画し、国政等の情報収集、国等への要望活動等を行う。 地方自治制度の課題、基礎自治体のあり方、広域自治体と基礎自治体との役割分担など、大都市制度についての課題整理・検討を行う。		
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載			
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	指定都市市長会、関西広域連合、全国市長会、近畿市長会、大阪府市長会 等		
10	公民連携・協働事業			

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標					
	さらなる地方分権の推進 共通する行政課題の解決					
	当該目標を設定した理由	現在、各市町村においては様々な分野で行政課題が発生しており、それらの課題の解決のため、必要に応じて要望等を実施する必要があるため。				
	目標に対する実績	必要に応じて指定都市市長会、関西広域連合等から国へ要望・提言等を行った。				
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標	
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	国等への要望・提言	回	目標値	-	-	-
			実績値	40	46	
		達成率	-	-		
	当該指標を選定した理由	様々な行政課題の解決に向け、国や大阪府等に対し、時勢に合わせた活動を実施しているため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	実績値については要望や提言活動を行った回数。要望や提言については必要に応じて実施するものであることから、目標設定がなされないため、実績値のみ記入している。				

令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	地方分権及び広域連携推進事務	事業番号	001-017
-------	----------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	47,257	44,915	48,441	44,340	48,311
13 財源内訳	国支出金				0
	府支出金				0
	市債				0
	その他 ()				0
	受益者負担金(使用料、手数料等)				0
	一般財源	47,257	44,915	48,441	44,340
14 人件費 (b)	24,800	21,080	20,750	20,750	20,750
15 年間経費(c)=(a)+(b)	72,057	65,995	69,191	65,090	69,061

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源	
								R3 決算
16 事業費内訳	全国市長会分担金	R3 決算	2,028	2,028	関西広域連合負担金	R3 決算	37,225	37,225
		R4 予算	2,028	2,028		R4 予算	40,085	40,085
	近畿市長会分担金	R3 決算	416	416	副首都推進本部会議負担金	R3 決算	19	19
		R4 予算	416	416		R4 予算	450	450
	大阪府市長会分担金	R3 決算	824	824	大都市企画主管者会議負担金	R3 決算	0	0
		R4 予算	815	815		R4 予算	30	30
	全国青年市長会負担金	R3 決算	30	30	地方自治研究機構会費	R3 決算	135	135
		R4 予算	60	60		R4 予算	135	135
	指定都市市長会分担金	R3 決算	3,600	3,600	旅費	R3 決算	63	63
		R4 予算	3,900	3,900		R4 予算	392	392

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和2年度	令和3年度
① 国等への要望・提言 (要望等に係る各会議への出席回数を含む)	回	113	122
② 上記①にかかる年間経費	千円	65,995	65,090
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	584,027	533,525
備考 (算出についての説明等)	要望・提言回数 + 要望等に係る各会議への出席回数		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 現在、地方分権改革が進められている時代において、国や府からの権限移譲や多様な広域連携による行政サービスの向上が求められている中で、各自治体においては様々な分野で行政課題が発生しており、それらの課題解決に向け、状況に応じて地方分権への提案や国等への要望・提言等を行っている。

このことから、本業務については必要不可欠な業務であると認識している。

なお、本事業の予算については、各団体への分担金が主となっており、本市のみの判断で縮減できるものではないと考える。

今後も引き続き、行政課題の解決に向け、国等への要望を実施していく。

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19 事業の目的達成に向け、指定都市市長会や関西広域連合など関係団体と連携し、行財政の諸課題の解決に向け、2022年度の国の政策及び予算に関する提案や要請活動を実施した。

広域連携の推進について、観光や産業振興、防災などの分野において各団体や他自治体と連携した取組を進めており、社会情勢の変化に応じて調査・検討を行うなど、迅速な対応を実施した。